

路地百選推薦書

推薦者氏名：木村晃郁

推薦する路地（のまち）の名称	有田のトンバイ堀の道
所在地	佐賀県有田市

【推薦する理由（路地のよいところ）】

）伊万里・唐津と並ぶ佐賀県の窯処有田の「トンバイ堀の道」です。トンバイ堀とは、壊した焼き物の登り窯の石を積み上げた堀で、独特の茶褐色をしています。メインストリートの国道 35 号線の旧道のさらに裏側にある路地です。途中には、窯元が 1 軒有り、その煙突とこちらは煉瓦造りの堀が良い風情を見せています。

）なお、メインストリートも、古い街並みを残しています。2000 年 9 月撮影。

【写真添付】



これがトンバイ堀

路地と窯元



こんな路地もある



表通りの風情

路地	面積	約 11 ha	路地の延長	約 1111 m
のまち	まちの成り立ち、特色等	17 世紀初頭、豊臣秀吉の朝鮮出兵の際、肥前国鍋島藩主・鍋島直茂が連れ帰った李參平（りさんぺい、イ・サムピョン、一説には韓国の忠清南道金江出身）が、1616 年（元和 2 年）（1604 年説あり）に有田の泉山で白磁鉢を発見し、そこに天狗谷窯を開き日本初の白磁を焼いた有田焼の祖と言われていた。1637 年（寛永 14 年）に鍋島藩が伊万里・有田地区の窯場の統合・整理を敢行し現在の皿山を形作った。		
の概要		初期伊万里、古九谷様式、柿右衛門様式、金襴手などと呼ばれ、有田焼が伊万里と呼ばれたのは、伊万里港から出荷したことによる。		